

企画展

標本サファリ

【後期】一水の動物

8/5【火】～11/3【月・祝】

※【前期】-大地の動物-は～8/3(日)迄開催中

10:00～17:30(最終入場は閉館の30分前)

ふじのくに地球環境史ミュージアム2F 企画展示室1

観覧料／一般：300円(団体200円)

小学生以上大学生以下・70歳以上・障害者手帳等をお持ちの方無料

協力／一般社団法人富士ストランディングネットワーク、NPO法人静岡県自然史博物館ネットワーク、静岡市立日本平動物園、豊橋市自然史博物館、豊橋総合動植物公園、富士自然動物公園

動物園との連携により

珍しい動物の標本が

たくさん集まってきました。

普段は遠くからしか

見ることのできない大型動物も、

標本であれば目の前でじっくり

観察することができます。

西岡 佑一郎 ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授



地球上のあらゆる環境で暮らしている哺乳類。その色々な生態は哺乳類の体の特徴に表れます。前半(～8/3)は「大地の世界」を、後半(8/5～)は「水と氷の世界」をテーマに、はく製や骨格標本を並べた展示室を探検しながら哺乳類の素晴らしき体の造形美をご覧ください。



極地の世界で 夏の暑さをふっとばせ!

ホッキョクグマ、トド、トナカイ、キングペンギンなど、極地の氷上や海上に生息する動物を紹介します。水と氷の世界を模した空間の中で、動物の寒さ対策を観察してみましょう。



熱海アカボウクジラの 全身骨格、見参

静岡県内の海岸にはクジラやイルカの死骸がよく漂着します。本展では、2021年に熱海市伊豆山に漂着したアカボウクジラの全身骨格標本(全長5.5m)を公開します。鯨類の中でも飛び抜けた潜水能力をもつアカボウクジラを徹底解剖します!



アカボウクジラの全身骨格標本

トドの
頭骨標本

目指せ! アニマルマスター

展示室内に隠されたクイズに答え、哺乳類学者のライセンスカードをゲットしよう!



ふじミュージアム
夏のイベント

発見! 冒険! ふじミュージアムで学ぶ夏!

ふじミュージアムの夏はとびきり楽しい!
夏休みの自由研究にも役立ちます♪

8/3(日)・10(日)・11(月・祝)・17(日)・24(日)に開催。各日イベントを実施予定。8/17は観覧料無料。

★ナイトミュージアム★

昆虫調査隊

8/10【日】

10:40～16:00
対象／小学生以上
定員／15名
料金／観覧料のみ
会場／実習室ほか



講師／岸本年郎(ミュージアム研究員)
ミュージアムの裏山、自然観察路にどんな昆虫がすんでいるかを調べます。調査に参加して下さる調査隊の方を募集します。

手羽先の骨格標本を作ろう

8/24【日】

13:30～15:30
対象／小学3年生以上
定員／24名
料金／1人300円
会場／実習室



講師／駿河ほねほね団
誰でも、簡単に手に入る手羽先を使って、標本作りの体験をしてみましょう。



最遠の月と星団・星雲を見よう!

8/2【土】

19:30～21:00
対象／小学5年生以上
定員／15名
料金／観覧料のみ
会場／3F屋上
講師／大石隆広、渡邊忍
(ミュージアムサポーター)



望遠鏡で月や星団を見よう。また望遠鏡に天体用カメラを取付け、眼視では見にくい星雲も観望します。

ふじミュージアム夏のイベント申込み

〈申込み期間〉6/26(木)～7/11(金)詳細はミュージアムのHP内をご確認ください。



企画展

“日本三霊山”火山の崩れ

—富士山・立山・白山の災害と砂防—

7/12[土]~9/15[月・祝]

※休館日:7/15(火)、8/19(火)

〈7月・8月〉9:00~18:00 〈9月〉9:00~17:00
(最終入場は閉館の30分前)

静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室

料金／一般:300円、団体(有料観覧者20名以上):200円、
15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等無料(要証明)

※本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。

映像シアターもご覧いただけます。 共催／富山県 立山カルデラ砂防博物館

「崩れ」を治める砂防技術は、人々の生命や暮らしだけでなく地域の文化をも守っています。

「日本三霊山」を新たな視点【火山の崩れ】で眺めることで、自然を代表する存在である火山とその中で文化を生み出す人間との関わりの拡がりを知ることができます。



小林 淳 富士山世界遺産センター教員

“日本三霊山”火山が形成される過程で、それぞれに特徴的な土砂災害が発生。大規模な災害を繰り返してきた荒ぶる山と共生するため、人々は「砂防」という技術を発達させてきました。巨大な崩壊地を持つ活火山の砂防史を紐解くことで分かる、崩れを抑えるための様々な工夫や現代の砂防技術を知って学んでみよう。

富士山

-プレート衝突の場にそびえ立つ火山-



大沢崩れと大沢遊砂地
(富士砂防事務所 提供)

火山砕屑物が厚く堆積した富士山。約10万年前に誕生し、その後の活動期には富士山に氷河が存在したと指摘されるほど寒冷な時期があった。氷雪に覆われた富士山では爆発的噴火が発生するたびに土石流が流れ下って広大な石礫河原を形成した。現在も融雪期には雪代を発生させて被害を及ぼすことがある。

【崩れによる災害】



大沢崩れ源頭部の砂防設群
(富士砂防事務所提供)

『富士山焼砂押流荒地絵図』
[岩本村文書(富士砂防事務所提供)]

斜面崩壊や浸食を抑えながら植生の復元を図るための工事が進められる大沢崩れ源頭部。同時に大沢扇状地では土石流が河道から溢れ出ないように導流堤や流路工等が整備されている。

立山

-活断層に切られた巨大カルデラをもつ火山-



立山カルデラと大鷲崩れ
(富山県立山カルデラ砂防博物館 提供)

現在も激しく隆起を続ける北アルプス。地下深部で作られた岩石が地表に広く露出し、安政五年の飛越地震(1858年)では、立山火山のカルデラ南東部が大きく崩れ、常願寺川の上流を堰き止めた後、土石流となって常願寺川を一気に流れ下って大災害を引き起こした。

【崩れによる災害】



『安政五年常願寺川非常洪水山里変地之模様見取図』
(滑川市立博物館蔵)

常願寺川水系を一体的に整備するための砂防施設群。白岩堰堤は立山カルデラの出口に位置しており、その落差は108m。当時は珍しかったコンクリートや大型機械などが駆使された。

国の重要文化財である白岩堰堤
(立山砂防事務所提供)

白山

-脆弱で滑りやすい地質の上にいる火山-



別当谷・甚之助谷の崩れ
(金沢河川国道事務所 提供)

白山周辺には、数億年前から現在にかけての多様な環境で形成された変化に富む地質が広がる。白山の土台をなす手取層群では、繰り返される豪雪や融雪水の影響によって、地すべりや崩壊が多発し、時には手取川沿いの広い範囲に大洪水を引き起こしてきた。

【崩れによる災害】



昭和9年の手取川大洪水で流れ出た百万貫岩(金沢河川国道事務所提供)

登録有形文化財である甚之助谷砂防堰堤群
(金沢河川国道事務所提供)

小さな階段状の砂防堰堤群を細かく設置し、山脚を固定して地すべりや崩壊を防止した。現在も排水ボーリングや排水トンネルによって被圧地下水の除去があわせて行われ、地すべりを抑制している。

関連イベント

【公開講座】

7/20(日) 14:00~15:00

『北陸の活火山
立山・白山の災害と砂防の歴史』

講師:福井幸太郎(富山県立山カルデラ砂防博物館)

【公開講座】

8/17(日) 14:00~15:00

『富士砂防事務所が対策を進める土砂移動現象

一大沢崩れ、スラッシュ雪崩、そして富士山噴火とリアルタイムハザードマップ』

講師:中戸真一(国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所)

【担当研究員によるギャラリートーク】

7/12(土)・26(土)

8/9(土)・24(日)

9/6(土)・15(月・祝)

各日10:30~11:00、14:00~14:30

静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 電話番号/0544-21-3776 開館時間/9:00~17:00(最終入館16:30) ※7・8月 9:00~18:00(最終入館17:30)

休館日/毎月第三火曜日、施設点検日、年末

常設展観覧料/一般300円、団体(有料観覧者20名以上)200円/人、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等(要証明)無料

